

外国語科（英語）学習指導案

日 時 令和 8 年 2 月 20 日（金）
 第 5 校時 13：35～14：25
 学校名 江東区立第三砂町中学校
 対 象 第 2 学年 3・4 組 26 名
 少人数授業（2 学級 3 展開）
 会 場 体 育 館 棟 2 階
 授業者 主任教諭 多田 翔

1 単元名

Lesson 8 “Rakugo Goes Overseas” *NEW CROWN English Series 2*

2 単元の目標

国際オンライン交流会で知り合う生徒と仲良くなるために、海外で活躍する日本人について、工夫して紹介することができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①[知識] 現在完了形に関する事項を理解している。 ②[技能] 海外で活躍する日本人について、既習の文法や語彙の知識を活用して、まとまりのある内容で発表する技能を身に付けている。	① 国際オンライン交流会で知り合う生徒と仲良くなるために、海外で活躍する日本人について、工夫して紹介することができる。	① 国際オンライン交流会で知り合う生徒と仲良くなるために、海外で活躍する日本人について、工夫して紹介しようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）第 2 章 第 9 節 外国語 第 2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 (4) 話すこと [発表]

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

を受けて、簡単な語句や文を用いて、海外で活躍する日本人について紹介することができることを目標とする。

また、同 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

エ 文、文構造及び文法事項
 (ウ) 文法事項
 e 現在完了形

を取り扱う。

加えて、同 2 内容 [思考力、判断力、表現力等] (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英

語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

さらに、同2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

オ 話すこと [発表]

(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

② 言語の働きに関する事項

イ 言語の働きの例

(ウ) 事実・情報を伝える
・説明する

を受けて、単元の指導目標を設定した。

(2) 生徒観

第3回「英語学習に対する生徒の意識を把握するためのアンケート」(無記名方式)を令和7年11月に実施した。以下が、アンケート内容とその結果である。(年度初めとの比較を±で表示)

対象生徒：本校 第2学年 計142名

質問	回答	%
1 英語の授業は楽しかったですか？	楽しかった。	28% (+11%)
	どちらかと言えば楽しかった。	59% (+1%)
	どちらかと言えば楽しくなかった。	9% (-13%)
	楽しくなかった。	4% (+1%)
2 英語に興味はありますか？	興味がある。	22% (+1%)
	どちらかと言えば興味がある。	50% (+10%)
	どちらかと言えば興味はない。	22% (-8%)
	興味はない。	6% (-3%)
3 次の技能領域の内、どの項目が特にできるようになりたいですか？	話すこと [発表]	8% (-3%)
	話すこと [やりとり]	41% (-4%)
	聞くこと	6% (-3%)
	書くこと	33% (+5%)
	読むこと	12% (+5%)
4 次の技能領域の内、どの項目が特に不安ですか？	話すこと [発表]	20% (-8%)
	話すこと [やりとり]	20% (-8%)
	聞くこと	14% (+7%)
	書くこと	36% (+4%)
	読むこと	10% (+5%)

上記の結果より、本校第2学年の生徒は、約半年間の月日を経て、授業や英語学習に対する肯定的な回答が10%以上増えた。これは、毎回の授業で生徒の興味や関心を高める工夫や配慮(具体的な取組として、①ペアワークやグループワークを多く取り入れ、生徒同士で教え合い学び合う雰囲気を養う。②授業中の発問や課題の中で、英語学習に興味がなく、苦手意識を感じている生徒にも取り組みやすい話題やタスクを意識的に組み込む。等)を積み重ねていった結果だと言える。

また、生徒が不安や課題と感じている技能について、年度当初は「話すこと」が過半数を占めていた

が、約半年が経ち、「聞くこと」「書くこと」「読むこと」といった、その他の技能領域に対する回答割合が増加した。これは、外国語の指導において、4技能5領域のバランスを意識した「言語活動中心」の授業を続けてきた結果だと言える。

これからも、英語力を高めたいという生徒のやる気を大切にしつつ、アウトプット活動を十分に取り入れ、自己表現をさせる機会を確保する。また、間違えを恐れない雰囲気づくりや、生徒の自己表現に対してきちんと評価し褒めることを大切にする。

(3) 教材観

単元の目標である「海外で活躍する日本人について紹介する」ことに向け、教科書内容と関連した話題に関するやり取り、本文の音読活動やリテリング活動を通して、教科書表現の定着を図り、自己表現の幅を広げることを目指す。また、話すこと [発表] に関して、Lesson 5でも扱ったように、生徒がブレインストーミングで挙げた事実や考えを、思考ツールを活用して整理させたり、三段構成を指導し、まとまりのある発表をさせたりすることで、相手に伝わる発表を目指す。そして、中間評価としてペアやグループでの相互評価を行い、自身の発表を改善させる。

この単元を通して、最終的には以下のような英文を話すことを目指す。

※「十分に満足できる」状況(a)」の例

導入	Ryan Suzuki is a famous Japanese Youtuber. He is well-known because he is both a great English speaker and a great entertainer.
本論	I <u>have</u> also <u>studied</u> English <u>for...many...years</u> . English is my favorite language, but sometimes it is hard to keep practicing. When I watch Ryan's videos, he always teaches me a lot about a power of English. He makes a lot of people happy every day. And through his videos, he is improving the image of Japanese people. His success encourages me to practice hard and never give up.
結論	I will keep working hard to be a better person just like him. Thank you for listening.

5 年間指導計画における位置付け

時期	単元名	指導内容 (○言語材料 ◇学習内容)	評価の領域
前期	Lesson 1 Meet New Friends	○ 未来を表す表現(will / be going to ...) ◇ お薦めの学校行事について、理由を含め伝える。	話すこと [発表]
	Reading Lesson1 The Tale of Peter Rabbit	◇ ピーターラビットについて書かれた物語を読んで、概要を捉える。	読むこと
	Lesson 2 Fun with Books	○ 接続詞(when, if, that) ◇ お薦めの日本語の本について、理由を含め伝える。	書くこと
	Lesson 3 My Dream	○ to +動詞の原形など ○ 助動詞(must) ◇ パン店の特集記事を読んで、概要と要点を捉える。	読むこと
	Lesson 4 Safe Clean Water	○ There is [are] ... 、動名詞など ○ 擬似的助動詞(have to) ◇ 環境問題を解決するために、私たちができることについて、その場でやり取りをする。	話すこと [やり取り]
後期	Lesson 5 Visiting Australia	○ show + A + B / call + A + B など ◇ 自分が住んでいる地域の中で、訪れてほしい場所や体験してほしいイベントを紹介する。	話すこと [発表]

後 期	Lesson 6 Friends from Singapore	○ 比較、助動詞 ◇ 海外から届いたメールを読み取り、返信をする。	書くこと
	Reading Lesson 2 Online Experience	◇ バーチャルツアーについて書かれた記事を読んで、概要と要点を捉える。	読むこと
	Lesson 7 Gifts from China	○ 現在完了形①、tell + A + that...、前置詞 ◇ お薦めの日本土産について、理由を含め話し合う。	話すこと [やり取り]
	Lesson 8 Rakugo Goes Overseas	○ 現在完了形② ◇ 世界で活躍する日本人について取り上げ、その功績や影響力について、自分の事を交えて伝える。	話すこと [発表]
	Reading Lesson 3 A Pot of Poison	◇ 英語で書かれた日本昔話を読んで、概要を捉える。	読むこと

6 単元の指導計画と評価計画（全8時間）

時	目標	○学習内容 ・学習活動	評価規準 (評価方法)
第1時 (本時)	世界で活躍する日本人がテーマのスピーチメモを即興で作成し、簡単な発表をすることができる。	○ 単元全体の話題の理解 ・ 授業者とのやり取りを通して、本単元の題材である「世界で活躍する日本人」について考える。 ○ 単元末のパフォーマンス課題や単元目標についての説明 ・ ALT のモデル動画や評価 a のモデル文を通して、単元末のパフォーマンス課題について知ること、単元目標を理解し、学習の見通しをもつ。 ○ 即興的な自己表現活動 ・ AI と簡単なやり取りを行った後、思考ツールを活用して、スピーチメモの作成をし、ペア同士やクラス全体で簡単な発表活動を行う。 ・ テーマに沿った英作文をする。(アプリケーションソフトの活用)	ウー① (観察、提出課題)
第2時	大島希巳江さんについて書かれたインタビュー記事を理解し、その功績や影響力について考えることができる。	○ 帯活動としての発表練習 ・ 与えられたトピックに基づいてペアで1分間、即興的に英語で伝え合う。 ○ 文章読解 ・ Goal Activity の英文を読み、要点理解を行う。 ・ 現在完了形については意味だけ押さえる。 ○ 自己表現活動 ・ Goal Activity の内容を踏まえて、大島希巳江さんの功績や影響力について、自分の考えを伝え合う。	アー② (観察)

第3時	Lesson 8 の教科書本文を読み、即興リテリングをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帯活動としての発表練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられたトピックに基づいてペアで1分間、即興的に英語で伝え合う。 ○ Part 1, Part 2 の通読 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「授業者－生徒」間のやり取りを通して、本文内容の全体像を掴む。 ・ 本文内容の通読を通して、概要把握と要点理解の他、簡単な語彙や表現、文法事項の確認を行う。 ・ 発音練習を行う。 ・ 即興リテリングを行う。(内容理解の確認) 	ア－② (観察)
第4時	現在完了形を使った英文を理解し、自分自身のことについて話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帯活動としての発表練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられたトピックに基づいてペアで1分間、即興的に英語で伝え合う。 ○ 文法事項の導入と自己表現 <ul style="list-style-type: none"> ・ Part 1 及び Part 2 の本文を基に、現在完了形の使い方について理解する。 ・ 現在完了形を用いて、自分がこれまで続けてきたことについて自己表現をする。 ・ ペアやグループでやり取りした内容について書く。(アプリケーションソフト) 	ア－① (提出課題、ペーパーテスト)
第5時	単元末のパフォーマンス課題で紹介したい人物を見つけ、簡単なアウトラインを作成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帯活動としての発表練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられたトピックに基づいてペアで1分間、即興的に英語で伝え合う。 ○ パフォーマンス課題についての確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の実施日や評価基準を確認する。 ○ 人物調べ (一人1台端末) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が発表したい人物を1人選び、その人物についての情報収集を行う。 ○ スピーチメモの作成 (アウトライン) <ul style="list-style-type: none"> ・ 思考ツールを用いて、第1時の提出課題を元に、スピーチメモの作成をする。その際、これまでの学びや気づきを生かしていく。 	ウ－① (観察)
第6時	三段構成を意識し、聞き手が興味をもつような発表をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三段構成の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1時で扱ったモデル文を参考に、三段構成について確認をする。 ○ 相互評価による発表の改善 (中間評価) <ul style="list-style-type: none"> ・ 三段構成を意識し、ペアやグループで発表し合い、互いに評価・改善をしていく。 	ア－② (観察)
第7時	単元末のパフォーマンス課題に向けて、語彙や表現についての添削を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙や表現の自己添削 (一人1台端末) <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリケーションソフトを活用し、発表で用いる語彙や表現の自己添削を行う。 ○ スピーチメモ・スライドの完成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の単元末のパフォーマンス課題に向けて最終確認をする。 	ア－② (観察) ウ－① (観察)

第 8 時	国際オンライン交流会 で知り合う生徒と仲良くなるために、海外で活躍する日本人について、工夫して紹介することができる。	○ 単元末のパフォーマンス課題 ・ 本単元で学習した表現や既習事項を用いて、相手意識をもった発表を行う。 ・ 聞き手は発表した人と質疑応答を行う。 ・ 単元の振り返りをする。(アプリケーションソフト)	イー① (発表) ウー① (発表、振り返り)
-------------	---	---	---------------------------

7 指導に当たって

ア 以下の点に留意して、「主体的な学び」を促す。

- ・ 各単元の言語活動において、相手意識を含んだ、適切な目的・場面・状況を設定する。
- ・ 教科書本文を扱う際は、他人事で終わらせず、自分事として捉えさせるよう工夫する。また、帯活動として、日本の偉人に関する英文を読み、自分の意見や感想を交えて紹介する活動を繰り返し行うことで、自ら表現する力を高める。
- ・ 授業中に浮かんだ疑問や活動を通して気づいたことを、その都度、振り返りシートに書き留めさせる。また、わからないことやもっと知りたいことは、自分で調べ、まとめておくよう促す。

イ 以下の点に留意して、「対話的な学び」を促す。

- ・ 日頃からペア活動やグループ活動を多く取り入れ、他者との情報共有を通じて、異なる考え方が組み合わせたり、より良い学びを生み出していけるよう工夫する。
- ・ 自分と異なる考え方や捉え方に出合わせるために、多様な題材に、幅広く触れさせる。

ウ 以下の点に留意して、「深い学び」を促す。

- ・ やり取りや発表の場面では、個で考えるところからペア、グループ、クラスといった形で活動形態を変え、情報共有の輪を広げていくことにより、他者の様々な考えを取り入れ、思考が深まるような工夫を心掛ける。(再構築)
- ・ 単元の指導計画を組み立てる際は、単元全体を通して、「自己表現の機会」を与える。また、その都度、学習者に対して、適切な形成的評価や中間指導を行い、学びを深めさせる。
- ・ 学習者一人一人が、それぞれの深い学びを目指すための手段として、ICTを効果的に利活用する。

8 本時 (全8時間中の第1時)

(1) 本時の目標

世界で活躍する日本人がテーマのスピーチメモを即興で作成し、簡単な発表をすることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・ 学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
挨拶 ・ 帯活動 ・ 導入 5分	○ H.W.チェック ・ 前時に課した宿題点検を行う。 ○ Greeting+English Leader Time ・ 「当番生徒—その他の生徒」間で、英語での簡単なやり取りを行う。 ・ 本時の学習の流れを確認する。 ○ BINGO ・ ビンゴゲームを通して、教科書の語彙や表現の復習をする。	・ 短時間で行う。 ・ テンポよく行う。 ・ 本時の学習の流れを提示し、見通しをもたせる。 ・ Map Talk も扱う。その際、沈黙が生じないように、やり取りが継続する工夫を促す。	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ オーラルインタラクション <ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーンに示されたピクチャーカードを見ながら、授業者とのやり取りを通して、「題材」や「単元末のパフォーマンス課題」、「単元目標」について確認をする。 ○ 本時の目標の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクリーンに資料（キーワード集計、オリジナル映像、スライド等）を映し出す。 ・ テンポよく行う。また、生徒の反応や返しを引き出す工夫をする。 	
<p>展開 40分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>世界で活躍する日本人がテーマのスピーチメモを即興で作成し、簡単な発表をすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 即興的な自己表現活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が紹介したい日本人について考え、AI と簡単なやり取りを行う。 ・ 思考ツールを活用して、簡単なメモの作成を行う。 ・ メモを元に、ペア同士やクラス全体で簡単な発表活動を行う。 ○ ライティング活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が話した内容をもとに、5分間で英作文をし、記録に残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導し、生徒の活動の様子を十分に見取り、効果的な中間指導を行う。 ・ やり取りを通して自由に話した内容を整理させる。 ・ 発表者は相手意識、聞き手はリアクションを意識するよう促す。（コミュニケーションとしてのスピーチ） ・ アプリケーションソフトの利活用に繋げる。 ・ ここでは、文法やスペルの正確さや間違いを気にせず書き進めることを伝える。 	<p>ウー①（観察） 国際オンライン交流会で知り合う生徒と仲良くなるために、海外で活躍する日本人について、工夫して紹介しようとしている。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに今日の授業の振り返りを記入する。 ○ H.W.提示 ○ Greeting 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分な振り返りの時間を確保する。 ・ 振り返りを記入することで、自らの学びを振り返らせ、学習意欲の向上に繋げる。 ・ 自己表現活動で上手く言えなかったり、相手に伝わらなかったりした表現を書き留めて、自分で調べてくるよう促す。 	

(3) 板書計画

<p>舞台上のスクリーンに、スライドや映像を投影する。</p>	<p>Friday, February 20th</p>
	<p>Goal 世界で活躍する〇〇人がテーマのスピーチメモを即興で作成し、簡単な発表をすることができる。</p>
	<p>Bingo</p>
	<p>Lesson 8 導入 ➡ 単元末のパフォーマンス課題 <u>話すこと [発表]</u> ➡ 単元の目標</p>
	<p>ミニ・パフォーマンス課題 ➡ AI Chat ➡ 思考ツール ➡ 即興スピーキング ➡ 即興ライティング</p>
<p>H.W.</p>	<p>生徒の声や発言を拾ったものを、必要に応じて適宜板書する。 (学びの視覚化)</p>

(4) 授業観察の視点

- ア 新しい単元の導入の際に、相手意識をもたせ、自分事として捉えさせるよう工夫することで、生徒一人一人に対して、「主体的な学び」を促せていたか。
- イ ペア活動やアプリケーションソフトの活用を通して、他者と関わりながら考えを磨き合うことで、「対話的な学び」を促せていたか。